【第9学年　技術分野年間指導計画】（17．5時間）〔技術・家庭（技術分野）東京書籍〕

※（関）・・・関心・意欲・態度　（工）・・・工夫し創造する能力　（技）・・・生活の技能　（知）・・・知識・理解

※学級を前半・後半に分け、学期ごとに技術分野・家庭分野を履修する。3学期は交互履修する。

通年	前期	後期	単元	学習内容	評価の観点	時間
1	1学期	2学期	3編　生物育成に関する技術 1章　生物を育てる技術の特徴	1　生物を育てる技術について知ろう	・さまざまな生物育成技術に関心をもっている。（関） ・生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法についての知識を身につけている。（知）	3
2				2　植物を育てる技術を知ろう		
3				3　動物を育てる技術を知ろう （津野山畜産公社の方に講演）	・動物の環境を整える技術や動物の成長を管理する技術についての知識を身に付けている。（知）	
4			2章　生物を育てるための計画と管理	1　生物の育成計画を立てよう	・その作物に適した栽培時期、栽培に適した土やたい肥、たねまきから収穫までの育成方法について説明できる。（知） ・適切な資材や用具について考えている。（技） ・条件に応じて、作業の手順や肥料を適切に選択しようとしている。（工）	6
5				2　植物や環境を観察して育成しよう		
6				移植と定植		
7			前期：ミニトマト	定植後の管理		
8			後期：ブロッコリー	健康の管理		
9				森林のはたらき		
10			3章　生物育成に関する技術の評価・活用	1　生物育成に関する技術を未来に生かそう	・生物育成に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。（知）	1
11			定期テスト	前期1学期期末テスト 後期2学期期末テスト		1
12	3学期		4編　情報に関する技術 3章　プログラムによる計測・制御（プロロボを活用） 4章　情報に関する技術の評価・活用	1　計測・制御の仕組みを知ろう （ドローン講習）	・計測・制御システムの構成、プログラムによる情報の処理の手順、インターフェースの役割を説明できる。（知） ・周囲に迷惑をかけないように配慮して、新しい発想を生み出し、プログラムを作成しようとしている。（関） ・課題を解決するために、学習したことを生かし、条件を踏まえて、よりよいプログラムを選択・作成できている。（工） ・設計に基づき、簡単なプログラムを作成できる。（技） ・情報の技術と上手に付き合うために、学習したことを生かしプラスとマイナスのおりあいを付けて、自分なりの技術の活用法を考え、レポートにまとめることができる。（工）	6
13						
14				2　プログラムの役割について考えよう		
15				3　制御プログラムを作ろう （ピョンキーを活用）		
16				4　計測・制御プログラムを作ろう （プロロボを活用）		
17						
18			定期テスト	3学期期末テスト （50点満点・25分間）		0.5